

あふれでたのはやさしさだった ～奈良少年刑務所 絵本と詩の教室～

奈良少年刑務所（奈良市般若寺町 2017年3月で廃庁）

- ▷犯罪傾向の進んでいない17歳～25歳の男性受刑者
- ▷1908年(明治41) 竣工の赤煉瓦の建物 重要文化財として保存が決定…日本の近代化の美しい記念碑
- ▷法務省が土地建物を民間委託…^{ぎょうけい}行刑史料館・宿泊等の複合施設として再出発（開業は2024年夏か？）

独自の更生教育「社会性^{かんよう}涵養プログラム」（2007～16年）

① S S T（ソーシャル・スキル・トレーニング）

② 絵画

③ 物語の教室…童話と詩

▷月に各1回（90分）の授業 6ヶ月（3×6＝18回）で1期

▷受講生は10名ほど ②と③には教官のほか外部講師も

物語の教室（講師…^{りょう}寮美千子・松永洋介）使用教材

1回目 絵本「おおかみのこがはしってきて」（ロクリン社）

2回目 絵本「どんぐりたいかい」（チャイルド本社）

3回目～6回目 受講生の書いた詩

寮美千子 略歴

1955年 東京に生まれる。

1986年 毎日童話新人賞を受賞して作家デビュー。

2005年 長編小説『楽園の鳥』で泉鏡花文学賞を受賞。

2006年 神奈川から奈良へ転居。9月「奈良^{きょうせい}矯正展」見学。

2007年 奈良少年刑務所の社会性涵養プログラム講師に。

2016年9月、全18期の授業を終えた。

絵本・童話・詩・小説・ノンフィクションと幅広く執筆。

ホームページ <https://ryomichico.net> Twitter・Facebookもあります

